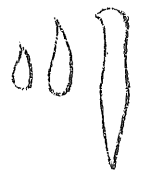


誌



発行 16
町 128
川 120
TEI { 1 集
編 務 課
1967.3.22号

国民年金は私たちの恩給

保険料は年度内に

一、国民年金保険料の納期は
四月分から六月分までは
七月三十一日まで
七月分から九月分までは
十月三十一日まで
十月分から十二月分までは
翌年一月三十一日まで
一月分から三月分までは
四月三十日まで
※四月三十日まで
と、三ヶ月毎に四回あります。
この納期が事故の際の年金納付
を行なう基準となり、納期内に保
険料を納めていけば、国民年金の
障害、母子、準母子などの年金給
付が保障されます。

二、ところで、国民年金保険料
はどのような方法で納めるかとい
うと、当野の場合、皆さんが保険
料として毎月現金を役場に納めて
頂くこと、まず、(一)、その現金を「
国民年金印紙」という切手のよう
なものに替えます。
次に、(二)、その国民年金印紙を
被保険者の皆さん一人一人から預
っている「国民年金手帳」に一枚
一枚貼りつけます。
そうして最後に、(三)、貼りつけ
た印紙をスタンプで消印(検認と
いいます)します。
この消印をすることによって初
めて保険料が納ったということに
なるのです。

2月のできごと

- 2月 3日 公民館大会
乳児健康相談
- 4日 少年式
鹿野川養鶏組合総会
- 8日 総務委員会
- 11日 百人一首大会
- 13日 第2次結核レントゲン検診
- 14日 たばこ耕作組合講習会
- 15日 粟生産者同志会
- 22日 定例部落長会
- 23日 所得税及び事業税の確定申告
消防施設査定(県地方課)
国民年金事務指導
- 27日 妊婦健康診断
- 28日 林業構造改善事業説明会(宇和川)

この納め方を印紙納付方式とい
います。
ところが、この納め方ができる
のは、その年度内の保険料に限ら
れています。
すなわち、昭和四十一年度分(昭
和四十一年四月分から昭和四十
二年三月分まで)の保険料は、昭
和四十二年四月三十日まででな
いと印紙で納めることができません。
五月に入ってから、昭和四十二
年度分の保険料を納めるときは、
役場に備えている納付書に現金を
添えて、銀行か郵便局に払い込む
か、直接、松山社会保険事務所へ
納めなければなりません。
実際には、現金をもってきてく
だされれば、役場が本人にかわって

この手続きをしておりますが、余
分の手間がかかることになり、な
りよりも心配されることは、納め
るのが遅れたために事故にあって
も、損害、母子などの年金給付が
受けられなくなることです。
三、昭和四十一年度分の保険料
を納め忘れていたような人には、
役場から戸別に通知をしますから
このような通知が届いた方は、納
付方法の簡単な年度内に、必らず
納めていただくようお願いします。
ます。

しいたけ生販協の総会盛会に終る

しいたけ生販協の総会盛会に終る
ことを以って目的とする。
二、主催
三、後援
四、実施の方法



しいたけ生販協の総会盛会に終る
ことを以って目的とする。
二、主催
三、後援
四、実施の方法

卒業期の少年非行防止

卒業期の少年非行防止
二月末から三月にかけては、受
験、卒業、進学、就職と、少年た
ちはもちろん、卒業期の少年を持
った家庭でも、気持がおちつかず
悩みの多いときです。
例年、この時期には、学校生活
を離れたための解放感や、進学、
就職の失敗などがもととなって、
少年の家出や非行が目だつて多く
あります。

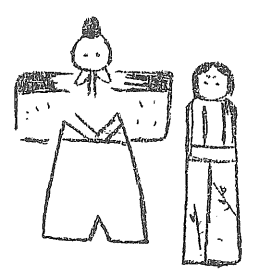
- 一、小畑井、共栄、白石
- 二、中野、見の越、上さ
- 三、汗生、上森山、協生
- 四、大屋敷、上敷水、下
- 五、さがや、藤野原
- 六、その他

- 一、目的
- 二、主催
- 三、後援
- 四、実施の方法

町の人口動態

二月三十一日現在

出生	兵頭 幸恵	廣常
永陽 一	京造	
本和子	大和	
山善治	カゲジ	
井久吉	飯栄	
前田 常吉	大和	
高永ツルヨ	月の尾	
和氣 貞男	下かの川	
香渡 恒	広常	
和氣 美代子	下かの川	
男 二、八〇五		
女 二、八〇八		
戸数 一、二四四戸		



友だちに注意して、まじめ
な交際をするように補導する。
服装や態度、所持品などに
注意する。
飲酒、喫煙をさせない。
少年の心に負担をかけない
こと。

みんなで作ろう 緑化推進運動

この運動は戦後国土復興の基本政策として、「山に木を植えよう」の呼びかけで、国家資源の培養と、私財確保増大をはかり、吾国経済の基礎を確立する運動として、昭和二十五年に開始され、国会議長を会長として推戴して、国県都市町村と系統的、又、組織的に国土緑化推進委員会が結成され、植林事業をはじめ造林技術指導が毎年行なわれます。

天皇、皇后両陛下を、お迎えしての、植樹祭行事等林業施策に果した業績は偉大であり、特に造林補助予算獲得等は、この運動が中核となつて推進してあります。

然し、吾国産業の振興経済の発展は、木材需要の激増となり、日本産業のなかで占める木材の役割は、割目すべきものがあります。

次の通り当町も計画しておりますので、前記の情勢等を理解して頂だき、次の要領によつてみなさまの御協力をお願いいたします。

- 一、期日 三月十日から四月末日
- 二、運動推進母体 肱川町役場 肱川町森林組合
- 三、事業
 - (一)明治百年記念植樹
 - (二)杉、檜の枝打の励行
 - (三)鹿野川自然公園記念植樹
 - (四)大駒場遊園地記念植樹
 - (五)緑の羽根募金
 - (六)特別募金
 - (七)記念バッジ配布

ものもらい

俗にものもらいといわれ、よく知られている目の病気ですが正しくは麦粒腫といひます。

菌がはいってウミをもつ一種のオデキでニキビに似ています。それほど心配する病気でありませんが、困るのは、一つできると次々にできるとことです。これは始めのうんで破れた時に、その菌がほかのところにつくためです。マブタをミが出そりになつたら、

とじたりこすつたりしないように注意することが大切です。もし、あまり次々にできるようだったら、尿の検査をしてもらう必要があります。

糖尿病などで体の抵抗力が低下しているときにできやすいのです。治療はサルファ剤の内服、及び抗生剤の点眼などが主ですが、しろうと療法で化膿しているものには抗生剤をやたらに使うと、その部分が残ることがありますから、気をつけて下さい。

林業だより 肱川土場木材相場表

長寸	すぎ	ひのき	まつ	その他
4 m	7 cm下 8 3	8 5		松パルプ材
	8 上 6 3	6 4		1.50m~2.10 m
	12 上 5 8	7 9		未口6 cm上
4.2 m	16 上 6 0	8 1	4 0	2 6 円 0 0 銭
	3 0 上 6 2	8 6	5 0	雑パルプ材
3.0 m	7 下 4 6	4 7		1.50m~2.10m
	8 上 4 6	5 0		未口6 cm上
	13 上 5 9	8 7		2 0 円 5 0 銭
3.2 m	16 上 5 7	7 9	3 8	マツ箱材
2 m	7 下 3 2	3 2		2.10 m
	8 上 2 4	2 4		未口1.4 cm上
	16 上 3 0	3 5		2 6 円 ~ 3 1 円
2.1 m	3 0 上 4 2	4 2		
1 m	1 2 上 2 0	2 2		
6 m	1 3 上 6 0	9 5		
足場		1 mにつき 55 円 ~ 95 円		

本表は 肱川町内の自動車土場の価格です(才当り) 故に 運賃や市場手数料など差し引いたものです

乾しいたけ相場表

県森産椎茸共同販売所に於ける相場

1.入札の月日 S 4 2 . 3 . 1 0

2.価格

高値 香信 3.370 (秋子)

 " 2.600 (春子)

冬茸 2.310

平均 冬茸 2.147

安値 冬茸 1.420

概要

冬茸は前回市とほぼ同値

次回市も2.000円台に止まる模様

どんこに生れたもの、開きすぎが目につく

早目に採って良いどんこにして下さい

次回市 3月27日、4月10日です

5日前位に出荷して下さい

お知らせ 乳児検診日

二月号でお知らせしておりました乳児検診は都合により左記のとおり変更いたします。

今回は精神異常、とくに知能障害の発見のための尿の検査を行います。これは出生後早く発見して治療すれば症状の発現が予防され

一、変更日時及場所 三月二十九日、午後一時~三時まで

一、該当者 昭和41年7月1日 昭和42年2月28日 間の出生者

一、検診医師 大洲市小児科医 宇都宮先生

4月分学校給食献立案(予定)

肱川町教育委員会

日	曜	献立名	使用材料	508	660	870	24.5	29.5	38.9
10	月	炒り豆腐	パン、ミルク、豆腐、白菜、卵、人参、さつまあげ	508	660	870	24.5	29.5	38.9
11	火	焼きそば	そば、豚肉、玉ネギ、人参、キャベツ、いか、食油	636	794	1062	23.7	28.9	38.7
12	水	揚げパン、ウインナー、汁	白菜、人参、玉ネギ、ちくわ、卵、砂糖、食油、煮干	529	663	876	29.3	36.4	47.1
13	木	つみ入れ汁	魚すり身、玉ネギ、人参、白菜、ネギ、味噌、ワカメ	521	655	871	29.0	36.1	46.5
14	金	ゼンザイ、リンゴ	小豆、砂糖、小麦粉、粉乳、リンゴ	565	722	994	22.3	28.4	39.8
17	月	筑前煮	鶏肉、ちくわ、こんにゃく、人参、ゴボウ、ジャガ芋	485	605	810	21.4	26.7	35.9
18	火	卵うどん	うどん、卵、人参、ネギ、油揚げ、ちくわ、煮干	513	639	851	22.3	26.6	35.3
19	水	さつまあげ	魚すり身、玉ネギ、人参、ネギ、ごぼう、小麦粉	539	659	880	22.5	26.1	35.4
20	木	サラダ	ジャガ芋、ソーセージ、ピース、人参、玉ネギ	526	657	879	21.4	26.5	35.8
21	金	焼きそば	そば、豚肉、玉ネギ、人参、キャベツ、いか、ちくわ	636	794	1062	23.7	28.9	38.7
24	月	味噌汁	豆腐、ジャガ芋、ワカメ、人参、玉ネギ、ネギ、味噌	529	663	876	29.3	36.4	47.1
25	火	焼きビーフン	ビーフン、鶏肉、さつまあげ、玉ネギ、人参、いか	550	695	935	21.5	29.6	36.0
26	水	鉄火煮	鰯肉、こんにゃく、人参、ジャガ芋、玉ネギ、ネギ	508	660	870	24.5	29.5	38.9
27	本	揚げパン、リンゴ、汁	白菜、人参、玉ネギ、ちくわ、卵、砂糖、食油、煮干	529	663	876	29.3	36.4	47.1
28	金	サラダ	マカロニ、ソーセージ、人参、キャベツ、リンゴ	566	672	884	20.7	24.5	39.3

香典返し福祉事業へ寄附

和氣千秋氏は、御令嬢美代子さんの御死去による香典返しを町の社会教育及び社会福祉事業へ十五万円を寄附をされ、その御奇蹟な行為に感謝されている。

消防団出初式終る

一 五十四人表彰を受く

本年度肱川町消防団の出初式は、三月十日午前九時より、肱川中学校体育館において挙行、知事代理を始め、松山県事務所大洲出張所長、警察署長、郡内消防団長、主任、町内議会議員外有志多数を参列のもとに、団員三三二名の姿勢、服装の点検部隊訓練、機械器具点検等を運動場で行なった。

各種操法、一斉放水等は、雨のため中止になった。

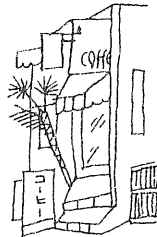
その後、体育館において表彰式を挙行した。

日本消防協会長、県知事、県消防協会長、郡連合会長、町長表彰等、受彰者は五十四人、午前十一時盛會裡に終了した。

尚受彰者は次の通りです。

日本消防協会長表彰

- 町消防団 副団長 中居喜代光
- 愛媛県知事表彰
- 功労章
 - 町消防団 団長 香川亀久次郎
 - 第四分団分団長 有友 勇
 - 第三分団分団長 岡村 利三
 - 愛媛県消防協会長表彰
 - 功績章
 - 第五分団分団長 三瀬 勉



第五分団	団員	東 吉徳
第五分団	団員	山下 俊勝
第一分団	団員	三井 喜秋
第一分団	団員	楠野 仁志
第一分団	団員	大野 勲
第一分団	団員	曾根 幹男
第四分団	団員	思田 重夫
第四分団	団員	池田 岩美
第四分団	団員	寺尾 多助
第四分団	団員	千葉 利夫
第四分団	団員	西本繁三郎
第一分団	団員	西本繁三郎

新人学園児を 交通事故から守ろう

四月八日から三十日までの間交通安全県民総ぐるみ運動愛媛県本部、愛媛県教育委員会、愛媛県PTA連会等の主催によって、「新入学園児に対する交通事故防止運動」を県下いっせいに進めています。

この運動は、新入学時に多い交通事故から、子どもを守ることを目的としています。

交通ルールもわからず、そのうえ集団訓練のできていない子供が一度に社会に出てくるため、毎年この時期には事故が多発しています。

そこで次の点にみなさんのご理解とご協力をお願いします。

- ☆ 交通安全色（黄色）を身につけさせる。
- ☆ 入学（園）前に交通安全教育
- ☆ 集団通学の励行
- ☆ 注意は具体的にくりかえして。
- ☆ おとなが交通ルールの模範を示す。

四月の解説

四月の和名は「卯月」といいます。和名はすべて陰暦が基準になつていますが、太陽暦に換算すると五月に当たります。

「うづき」の語源は、卯の花が咲く月であることから、この呼び名があるとする説と、

稲などの農作物を植える月という意味の「植月」が縮まって「うづき」となったとする説があります。一般的には前者の卯の花説が知られています。

そのほか、昔の人はこの月のことを、夏初月、清和、初夏、乾月などと呼んでいます。いずれも旧暦の陽気の事物によせた呼び名です。

先に述べた卯の花は、日本全国の山野に自生するうづき（空木）の花のことで、四月末から五月の初夏にかけて咲く白いきれいな花です。うづきは茎の中が空洞になっているので、空木といわれたのでしょう。とうふのしぼりかすのことをう

四月の和名は「卯月」といいます。和名はすべて陰暦が基準になつていますが、太陽暦に換算すると五月に当たります。

「うづき」の語源は、卯の花が咲く月であることから、この呼び名があるとする説と、

稲などの農作物を植える月という意味の「植月」が縮まって「うづき」となったとする説があります。一般的には前者の卯の花説が知られています。

そのほか、昔の人はこの月のことを、夏初月、清和、初夏、乾月などと呼んでいます。いずれも旧暦の陽気の事物によせた呼び名です。

先に述べた卯の花は、日本全国の山野に自生するうづき（空木）の花のことで、四月末から五月の初夏にかけて咲く白いきれいな花です。うづきは茎の中が空洞になっているので、空木といわれたのでしょう。とうふのしぼりかすのことをう

衣服の調節

四月初旬は、急に気温がさがって、あわててしまふことだ。セーターを引っ張り出すようなことがあつて、

いわば気候の不安定な月です。あまり早手回しに冬物を整理してしまふと、まごつくことがありまから、下着類とか、軽いオーバードレス、セーターなどの始末は、月末まで残しておきましょう。

ことに小さいお子さんたちや小中学生のいる家庭では、この季節の衣服の調節に気を配ってかぜをひかないよう十分注意が必要です。

のはなというものは、とうふからが、うの花に似ていることからです。「うのはなづけ」といって、このしるという魚をすでころして、うの花につけこんだもので、お正月料理にはかかせません。うの花に、にんじんや油揚げなどを煮こんだ料理もわたくしたちに親しまれていますが、安くて栄養価もあり、おいしいものです。

安いとうふのからを、うの花と呼んで、お客さんに劣等感をもたせないように考えた昔のとうふ屋さんの知恵はたいしたものですね。とんだ卯月談義になりました。



NHK

だより

あなたにもできる
簡単なテレビ調節法

テレビの画面がのびている、画が上下にながれる、左右がちぢみているなど、一見テレビの故障にみえる時でも、受信機についているツマミをまわして調節するだけであんがい美しい画面になるばあが多いものです。

しるうともてざる調節法

- 一、画面が上又は下に流れる時
垂直同期調節（V・E・C）
ツマミをまわしてみる。
- 二、画面が斜め又は横に太いしまつた時
水平同期調節（H・E・C）
ツマミをまわして調節する。
- 三、上、下が黒くなつて画面がシネスコになった時
テレビの後ろの垂直振幅（V・A・F）と垂直線性（V・L・F）
ツマミで調節する。
- 四、コントラストのつまみをまわしても画面がまだうすい時
ファイダーが、テレビのうらにある端子のところではずれていないか調べてみる。

ファイダーがはずれていないときは、A・G・C（自動利得調節）のつまみを少しずつ右にまわしてみて下さい。

このように調節してもなおらないときは、テレビ屋さんか、よりのNHK放送局にご相談下さい。

改正された家畜共済 (三)

1 四月一日より実施

前号までは、加入の仕方がかわったことや、病傷のとき診療費の限度額が上がることを紹介してきました。

今月は、診療費の限度額はいくらになるか、掛金はどうか変わるか、について紹介しましょう。

一、診療費の限度額

これまでは、一頭ごとに加入金額に応じて一つの病傷ごとに診療費の限度がありましたので、重い病傷のため診療費が限度をこえたときは、そのこえた部分が農家負担となって、他に病気をしない家畜の限度点数があっても融通することはできませんでした。

しかし、今後は共済金額に対して、乳用牛では九割、肉用牛八割、馬では十割に相当する金額が限度となります。

例えば、乳用牛を三頭飼っている農家で、牛の合計価格が五十万円であるとき、八割を撰択すれば共済金額が四十万円となりますから、その九割に相当する三万六千円の診療費までは、どの牛が病気をしても超過分を農家が負担することはなくなりました。

(従来は乳牛十万円加入しているとき、限度額五千五百九十円) 肉用牛や馬のときも同じ計算方法で診療費の限度が定まります。

二、掛金はどうか変わるか

家畜共済掛金は、二年ごとに過去の診療実績を基にしてその率が改正されています。

四月一日からは、大巾な制度改正に併せて掛金率も次のように改正されます。

共済金額に掛金率を乗じて得た金額から国庫負担金を差引いた金額が農家が負担する掛金となります。

(1) 乳用牛

包括加入では、成牛も育成乳牛も包括します。

○一頭の共済金額が三万円以下であるもの
掛金率 一一・六五%

○一頭の共済金額が三万円をこえるもの
掛金率 一一・六%

右の率を乗じて得た金額から差引かれる国庫負担分(但し一頭の共済金額が七万円をこえるものは七万円に左の率を乗じた額)

国庫負担分 一・〇八%



引かれる国庫負担分(但し一頭の共済金額が八万円をこえるものは八万円に左の率を乗じた額)

一、二頭のとき 三・一二%

三、四頭のとき 四・一六%

五、六頭のとき 五・二〇%

七、八頭のとき 六・二四%

九、十頭のとき 七・二八%

十一、十二頭のとき 八・三二%

十三、十四頭のとき 九・三六%

十五、十六頭のとき 一〇・四〇%

十七、十八頭のとき 一一・四四%

十九、二十頭のとき 一二・四八%

二十一、二十頭のとき 一三・五二%

二十三、二十四頭のとき 一四・五六%

二十五、二十六頭のとき 一五・六〇%

二十七、二十八頭のとき 一六・六四%

二十九、三十頭のとき 一七・六八%

三十一、三十二頭のとき 一八・七二%

三十三、三十四頭のとき 一九・七六%

三十五、三十六頭のとき 二〇・八〇%

三十七、三十八頭のとき 二一・八四%

三十九、四十頭のとき 二二・八八%

四十一、四十二頭のとき 二三・九二%

四十三、四十四頭のとき 二四・九六%

四十五、四十六頭のとき 二六・〇〇%

四十七、四十八頭のとき 二七・〇四%

四十九、五十頭のとき 二八・〇八%

五十一、五十二頭のとき 二九・一二%

五十三、五十四頭のとき 三〇・一六%

五十五、五十六頭のとき 三一・二〇%

五十七、五十八頭のとき 三二・二四%

五十九、六十頭のとき 三三・二八%

六十一、六十二頭のとき 三四・三二%

六十三、六十四頭のとき 三五・三六%

六十五、六十六頭のとき 三六・四〇%

六十七、六十八頭のとき 三七・四四%

六十九、七十頭のとき 三八・四八%

七十一、七十二頭のとき 三九・五二%

七十三、七十四頭のとき 四〇・五六%

七十五、七十六頭のとき 四一・六〇%

七十七、七十八頭のとき 四二・六四%

七十九、八十頭のとき 四三・六八%

八十一、八十二頭のとき 四四・七二%

八十三、八十四頭のとき 四五・七六%

八十五、八十六頭のとき 四六・八〇%

八十七、八十八頭のとき 四七・八四%

八十九、九十頭のとき 四八・八八%

九十一、九十二頭のとき 四九・九二%

九十三、九十四頭のとき 五〇・九六%

九十五、九十六頭のとき 五一・〇〇%

九十七、九十八頭のとき 五二・〇四%

九十九、百頭のとき 五三・〇八%

(2) 肉用牛

○一頭の共済金額が三万円以下であるもの
掛金率 四・五五%

○一頭の共済金額が三万円をこえるもの
掛金率 四・五〇%

右の率を乗じて得た金額から差引かれる国庫負担分(但し一頭の共済金額が七万円をこえるものは七万円に左の率を乗じた額)

国庫負担分 一・〇八%

(3) 馬

○共済金額が三万円以上のとき
掛金率 一四・二二%

○共済金額が三万円未満のとき
掛金率 一四・二二%

右の率を乗じて得た金額から差引かれる国庫負担分(但し、共済金額が十万円をこえるものは十万円に左の率を乗じた額)

国庫負担分 三・一五六%

円に左の率を乗じた額)

国庫負担分 三・一五六%

例えば、二十万円の馬を飼養しているとき、六十%を選べば農家負担となる共済掛金は、一万三千九百八円になります。

従来に比べると、近年の死傷病

傷事故の多発に伴い、掛金率が上がり、また、多頭飼養する農家は、掛金の国庫負担分が上がるため、割安となり、乳牛では、三頭以上、肉用牛では、五頭以上飼養する農家は、掛金を年三回に分納することもできるようになりました。

NHK

カラー放送、教育テレビをいっそう拡充

四月から

NHKでは今年四月から、カラー番組や教育テレビの放送時間をいっそう拡充することにしました。

NHK放送番組は、毎年四月に改定がおこなわれますが、来年度の改定の基本的な考え方を示す昭和四十二年度国内放送番組編集の基本方針はつぎのとおりとなります。

まず、現在定時番組で一日に四時間一分おこなわれているテレビのカラー放送をいっそう拡充して、年度末には七時間半にふやすようにすること、宇宙中継でニュース、報道番組を活発に放送することなどがよりこまやかに行われます。

さらに総合テレビについては、(一) 毎朝一、二分間の交通事故キヤンペイン番組を放送し交通安全を啓蒙すること、(二) 午後八時台の音楽番組、午後九時台の芸能番組に新番組を登場させ、充実をはかる。

(三) テレビローカル放送の充実のため、年度末までに県庁所在地とこれに準ずる基幹局三十三局の全部にテレビ中継車を配置する。

また教育テレビは、(一) 一日平均一時間半の時間増をおこない、一日十八時間放送とする。

(二) 新たに中国語、スペイン語講座とあわせて語学講座番組を拡充する。

以上のようないことが計画されています。



山を緑にいたしましょ



いっほり、ラジオでは、第一放送は家庭婦人向けワイド番組身近な生活情報を主にした報道番組、軽い音楽番組など、聴取者層の実情に即した編成をおこない、ラジオのもつ機能性、速報性を生かす。

第二放送は教育番組を中心に聴取目的を明らかにした番組を強化する。

FMはステレオ放送を一日一時間程度ふやす、などとなっています。